

Y25a ぐんま天文台における高等教育

橋本修, 山野悟, 五十嵐章人 (ぐんま天文台)

ぐんま天文台では幅広い利用者に対する開かれた利用を目指しており、その望遠鏡や設備は、初等中等教育のみならず、大学や大学院などの高等教育に対する活動でも活用されている。高度な観測装置を備えた150cm望遠鏡をはじめとする設備は、学位取得を目的とした高い水準での研究活動に十分貢献しうるものである。この天文台での観測成果を用いてこれまでに博士号や修士号の学位を取得した大学院生の数は少なくない。その中には放送大学の学生も含まれており、一般の大学院教育に留まらない高度な生涯学習の実践としての性格も反映されている。また、近年では、大学間連携事業の枠組における大学院生の実習プログラムにも協力をしている。

学部教育においても、150cm望遠鏡と高分散分光器を活用した観測実習を研究者の養成を主目的とする天文学科の学生に実施してきた実績があるほか、中学や高校の教員養成を目的とした教育プログラムとしての観測実習も長年にわたって実施している。本格的な装置・機器を利用した観測を行い、観測現場の実際を体験し、教科書に記述されている事実が導き出される過程を身を持って体得するような機会としている。既に教員となって現場で活躍している元実習生もかなりの数にのぼる。

ぐんま天文台の施設・設備を活用すれば、様々な形態での高等教育の実践が可能であり、今後もこの種の教育活動を継続的に実施していく予定である。これまで利用実績のなかった大学等にも広く機会を提供したいと考えている。関東近隣にこの種の天文台施設は皆無でもあり、数多くの大学等からの積極的な利用を期待している。